



あなたと
どこでも
アート

小さな家
プロジェクト

旅する小さな家

アート空間デザインコンペ

どなたでも
応募できます

最優秀賞は実際に
制作されます

応募受付期間 **2014年 6月14日 ~ 6月30日**

期間内に到着するようにお送りください

最優秀賞となった応募作品は実際に予算300万円で制作され、様々な場所を旅します。

応募作品展（埼玉県立近代美術館にて開催）で、全ての応募作品が展示されます。

応募作品展：2014年7月9日～7月12日（各日とも10:00～17:30）

審査員

長谷川豪

建築家。長谷川豪建築設計事務所代表。スイス・メンドリジ建築アカデミー客員教授。「桜台の住宅」で第24回新建築賞受賞。作品集『Go Hasegawa Works』(TOTO出版)が2012年に刊行。

平田五郎

美術家。マインド・スペースという概念から様々な場所に家のような構築物をつくる作品を展開。2004年五島記念文化賞、アラスカでフィールドワークを行う。

北原立木

小説家。文芸誌『孤帆』主宰。ヒアシンスハウスの会代表。日本ペンクラブ会員。「異物」（埼玉文芸賞）、「青いリンゴの譜」（埼玉文学賞）、「タマ子」、「有尾族をよるしく」などの幻想的な作品で知られる。

コーディネーター

種田元晴

博士（工学）・一級建築士。専門は建築図学。法政大学、東洋大学非常勤講師。日本図学会理事。主な論文に「建築家・立原道造の描く外観透視図に表現された田園的建築観」など。

テーマ「旅する小さな家」

街のなかに最小限のパーソナルスペースをつくりだす「旅する小さな家」の提案を募集します。

魅力的な街は、個人または少数者が心地よく滞在できる小さなスペースもっています。それは木陰のベンチであったり、店先の小さなスペースであったり様々ですが、「旅」する先々でそんな小さなパーソナルスペースを生み出すことのできる、街に開かれた「小さな家」を提案してください。

「旅する小さな家」は単なるオブジェではなく、それが街のなかに出現することでその場所の魅力を引き出し、その周囲に様々なアートの可能性を広げる舞台装置のようなものとして考えてください。

「小さな家」の旅先を具体的に想定して、「小さな家」の提案に加えて、そこを基点にしてそこで展開されるアートの一例も具体的に示してください。パフォーマンスやインスタレーションなど、どのような種類のアートでも構いません。自由に提案してください。

提案内容

下記の全ての内容を盛り込んだ提案をA2用紙1枚にまとめてください。
※応募は1人（1グループ）につき1点に限ります。

- ・「旅する小さな家」の図面やイラストによる提案（具体的な大きさや材質が分かるように表現してください）
- ・「旅先」の候補地（埼玉県内）の提案
- ・「旅する小さな家」を基点にして展開されるアートの提案

提案内容

下記の全ての内容を盛り込んだ提案をA2用紙1枚にまとめてください。
 ※応募は1人（1グループ）につき1点に限ります。

- ・「旅する小さな家」の図面やイラストによる提案
 （具体的な大きさや材質が分かるように表現してください）
- ・「旅先」の候補地（埼玉県内）の提案
- ・「旅する小さな家」を基点にして展開されるアートの提案

応募資格・応募料

- ・特になし、無料。（資格や経験は問いません。年齢制限もありません。）
- ※審査の観点、建築・美術・文学と多岐に渡りますので、複数人のチームで応募し、それぞれの得意分野を活かした提案も可能です。
- ※小さなお子様が応募する場合は、保護者の方がサポートすることも可とします。

提出物

1. 作品登録票 兼 作品キャプション：本紙

- ・作品タイトル・氏名・制作意図・職業・連絡先を記入してください。
 （複数人の連名で応募の場合は、氏名・職業のみを全員分記載し、代表者1名の連絡先を記載してください。）
- ・「作品タイトル・氏名・制作意図」の部分は、応募作品展で作品キャプションとして使用します。（職業・連絡先は公開しません。）

2. 提案書：任意書式のA2用紙

- ・A2版（縦使い）の紙1枚に自由に表現してください。
 （着色、プリントアウト、写真を貼り付けるなど自由。ただし、厚みのあるものや立体物を貼り付けることは不可とします。）
- ・軽量の厚紙（スチレンボード等）で裏打ちしても構いませんが、木製パネル等の重量のあるものは不可とします。
- ・裏面に、氏名を記載してください。

提出先

〒330-0061

埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1

埼玉県立近代美術館 SMF事務局

※郵便・宅配便に限ります。（持ち込み、バイク便等は不可。）

応募受付期間

2014年6月14日～6月30日

（期間内に到着するようにお送りください。）

応募作品の返却

原則として応募作品は返却いたしません。返却をご希望の場合は、公開審査会・表彰式終了後お渡しいたします。（入賞作品となった場合は主催者から後日返送いたします。）

作品登録票 兼 作品キャプション

- ※本紙に直接記入するか、本紙をコピーしたものに記入して、提案書と一緒に郵送してください。
- ※作品タイトル・氏名・制作意図は、応募作品展で作品キャプションとして使用します。
- ※連名の場合の記載例：[氏名] 埼玉太郎+埼玉花子 [職業] 埼玉近代美術専門学校（埼玉太郎）、埼玉中学校（埼玉花子）
- ※連絡先は本公募事業の連絡にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。

→> 切り取る

作品タイトル	
氏名	
制作意図	

連絡先	職業	※事務局記入欄 (記載しないで下さい)
	電話番号	
	住所	
	メールアドレス	

賞

- 最優秀賞：1点
 最優秀賞となった応募作品を実際に予算300万円で制作します。
- 優秀賞：1点 特別賞：数点 佳作：数点
 ※各賞は公開審査会で決まります。ぜひ公開審査会にご出席ください。応募作品の内容について、審査員から質問がある場合もあります。

スケジュール

- ・応募作品展：2014年7月9日（水）～7月12日（土）@埼玉県立近代美術館 講堂（10：00～17：30）
- ・公開審査会：2014年7月13日（日）13：30～15：30@埼玉県立近代美術館 講堂
 ※審査会終了後に表彰式があります。
- ・完成記念イベント：アート日和「旅する小さな家がやってきた！」
 （竣工お披露目、美術作品展示、創作ダンス公演、記念シンポジウム）
 2014年11月9日（日）別所沼公園ヒアシンスハウス前庭、別所沼会館

提案にあたっての条件や留意点

【設置場所】

「旅する小さな家」が設置される最初の場所は、さいたま市別所沼公園のヒアシンスハウスの前庭が予定されています。その後、埼玉県内のいくつかの場所を「旅」する予定です。「旅先（設置場所）」の提案候補地は、実際にその場所に設置できることが応募時点で確定できている必要はありません。埼玉県内の魅力的な場所を自由に提案してください。ただし、提案候補地に設置できることを主催者が保障するものではありません。

【大きさ】

輸送や収納を考慮して、幅2.4m×長さ4.5m×高さ2.4m未満の大きさとしてください。

【最優秀賞となった場合の実際の制作について】

制作物の詳細設計や実際の制作は、最優秀賞提案者と意見交換をしながら主催者側で行いますので、応募者が設計や制作の専門的知識や技術を有している必要はありません。（最優秀賞提案者が詳細設計や制作の全部または一部を自身で行うことを希望する場合は、応募案の内容や完成までのスケジュールなどを検討したうえで判断します。）

【制作の予算】

制作費は300万円（輸送費は別途）です。予算内で制作可能な提案としてください。また、応募者は、採用された案が予算内での制作が困難であった場合には、主催者側と協議して、デザインや材料の変更、規模の縮小などの調整を行うことをあらかじめ了承のうえ応募するものとします。

【著作権等】

提案内容の著作権は応募者に帰属しますが、完成した制作物の所有権は主催者に帰属します。また、主催者は提案書の全部または一部、および完成した制作物（それを撮影した写真等を含む）を自由に公表・出版することができるものとします。

【質疑】

本要項についての質疑は受け付けておりません。不明な点は、応募者側で想定し適宜提案してください。

関連シンポジウム

【アート寺子屋2】

小さい空間の、大きなひろがり

日時：7月12日（土）14：00～17：00（予定）

会場：埼玉県立近代美術館 講堂

パネラー：中村好文（建築家）
 中里和人（写真家）
 石上城行（彫刻家）

関連展覧会

【埼玉県立近代美術館 企画展】

「戦後日本住宅伝説—挑発する家・内省する家—」

戦後を代表する16名の建築家の住宅を紹介

日時：7月5日（土）～8月31日（日）
 月曜休館（ただし7月21日は開館）

一般1100円、大高生880円